

三菱シーケンサ テクニカルニュース

No. FA-D-0075 1/13

2010年5月発行

表 題 AnS/QnASシリーズEthernetインタフェースユニット生産中止のお知らせ

適用機種 A1SJ71E71N-B2, A1SJ71E71N-B5, A1SJ71QE71N-B2, A1SJ71QE71N-B5

三菱シーケンサMELSEC-AnS/QnASシリーズに格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

このたび、長い間ご愛顧いただいておりますMELSEC-AnS/QnASシリーズの一部機種の生産を下記のとおり中止させていただきますので、ご了承の程宜しくお願いいたします。

記

1. 生産中止機種

品 名	シリーズ名	形 名	インタフェース
Ethernetインタフェースユニット	AnSシリーズ	A1SJ71E71N-B2	10BASE2
		A1SJ71E71N-B5	10BASE5
	QnASシリーズ	A1SJ71QE71N-B2	10BASE2
		A1SJ71QE71N-B5	10BASE5

2. 生産中止時期

- ・受注生産移行 2010年3月31日
- ・受注締め切り 2010年12月24日
- ・生産中止日 2011年1月31日

3. 生産中止理由

使用部品の一部が入手困難な状況であり製品の継続生産に支障をきたすことが予想されるため。

4. 修理対応

- ・修理対応期間 2018年1月31日（生産中止後、7年間）

5. 置換え機種

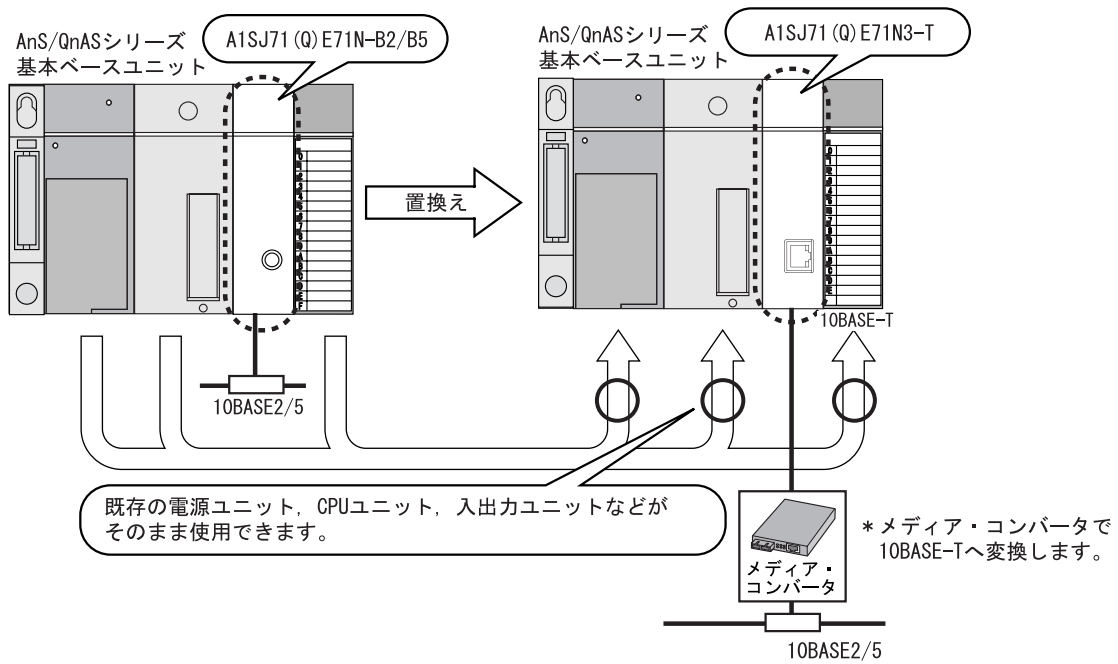
(1) 同一シリーズへの置換え

(a) 置換え機種

生産中止機種		置換え機種
シリーズ名	形名	形名
AnSシリーズ	A1SJ71E71N-B2	A1SJ71E71N3-T*1
	A1SJ71E71N-B5	
QnASシリーズ	A1SJ71QE71N-B2	A1SJ71QE71N3-T*1
	A1SJ71QE71N-B5	

*1 インタフェースを10BASE2/5から10BASE-Tへ変換する必要があります。変換するにはIEEE802.3の規格に準拠した市販のメディア・コンバータを使用してください。

(b) 置換え例



(2) Qシリーズへの置換え

(a) 置換え機種

生産中止機種		置換え機種		
シリーズ名	形名	シリーズ名	形名	
AnSシリーズ	A1SJ71E71N-B2	Qシリーズ	QJ71E71-B2	または、QJ71E71-100* ¹
	A1SJ71E71N-B5		QJ71E71-B5	
QnASシリーズ	A1SJ71QE71N-B2		QJ71E71-B2	
	A1SJ71QE71N-B5		QJ71E71-B5	

QJ71E71-B2/B5/100へ置き換えるには、システム全体をQシリーズへ置き換える必要があります。
(本項(c)参照)

ただし、増設ベースユニットQA1S6□Bを使用した構成にすることで、既存の入出力ユニットなどが使用可能となります。

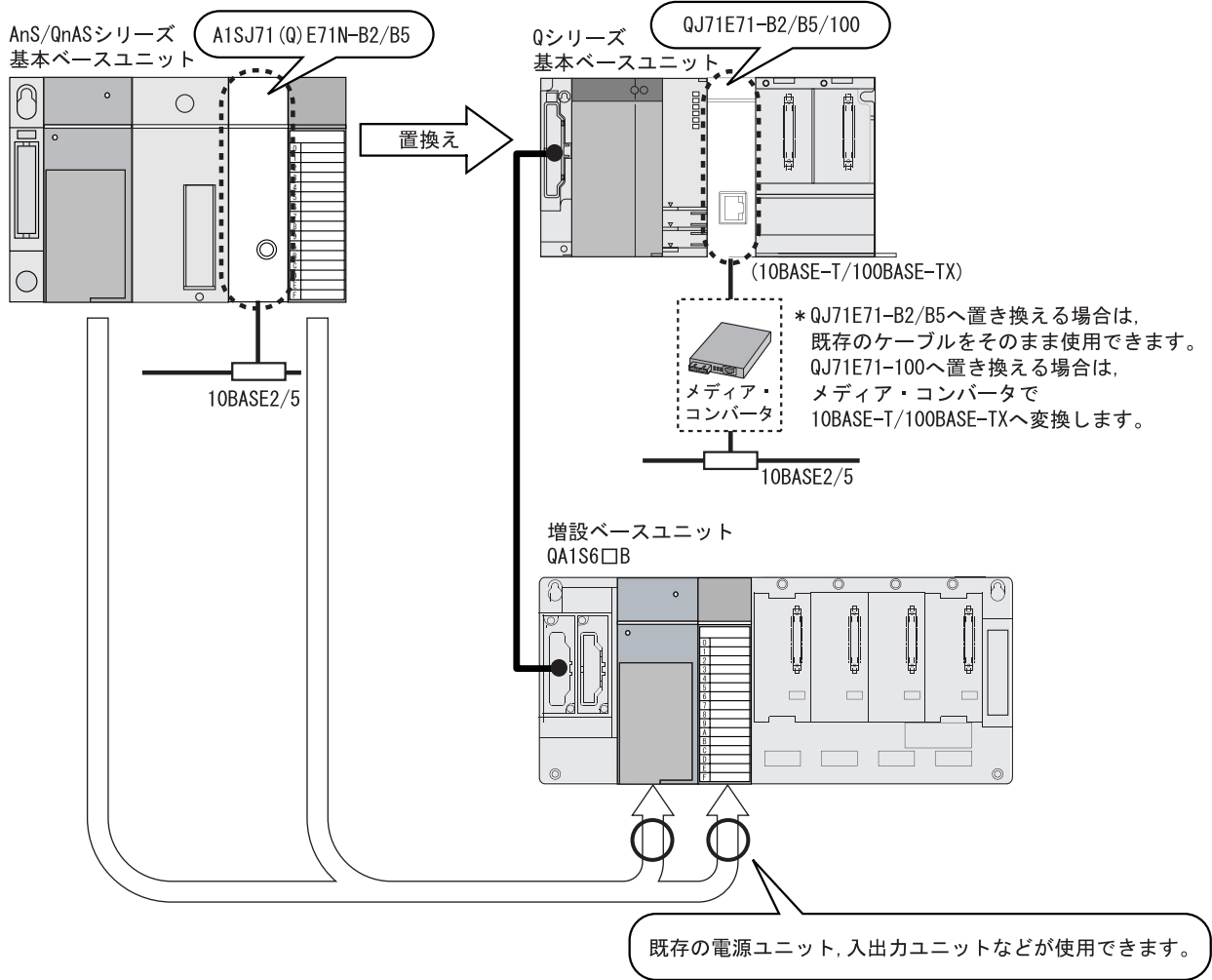
(本項(b)参照)

QA1S6□Bを使用する場合は、使用可能なCPUユニットおよび装着可能なユニットに制限があります。詳細については、QCPUユーザーズマニュアル(ハードウェア設計・保守点検編)を参照してください。

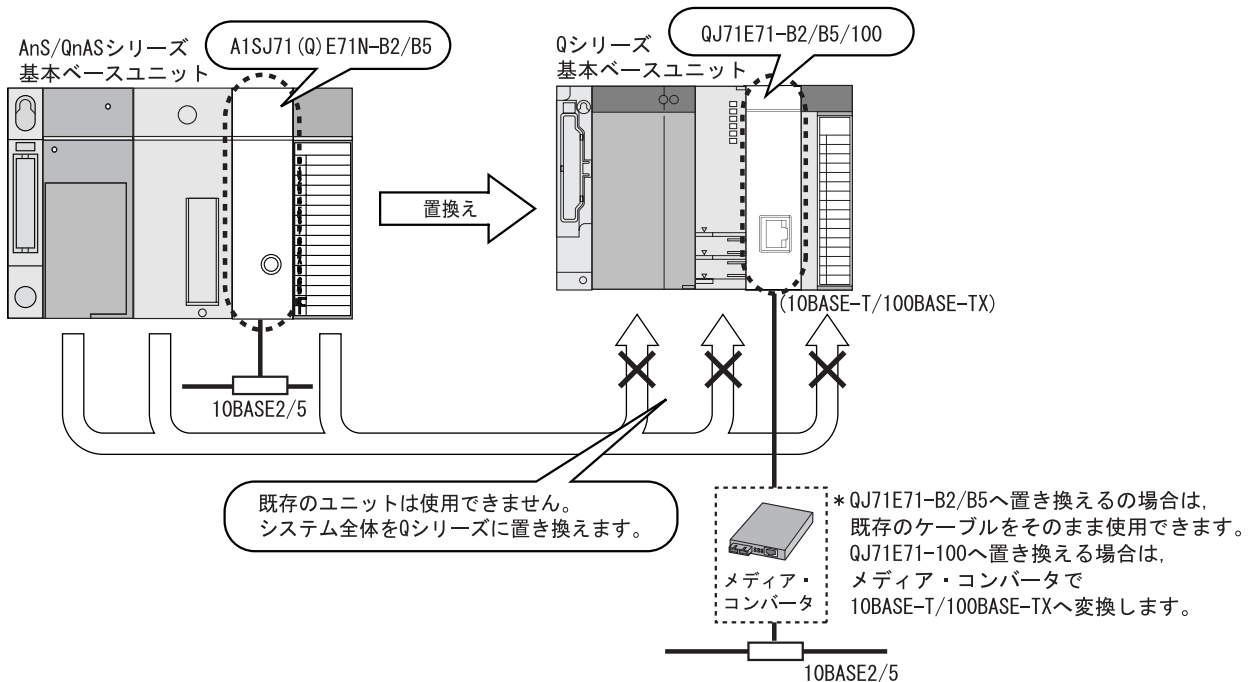
AnS/QnASシリーズからQシリーズへのプログラムの流用については「8. 置換え上の留意点」の(2)(b)、および(c)を参照してください。

*1 インタフェースを10BASE2/5から10BASE-T/100BASE-TXへ変換する必要があります。変換するにはIEEE802.3の規格に準拠した市販のメディア・コンバータを使用してください。

(b) 生産中止機種とCPUユニットを除く既存ユニットを流用した置換え例



(c) すべてのユニットをQシリーズに置き換える場合の置換え例



6. 生産中止機種と置換え機種の性能仕様比較

下記に生産中止機種と置換え機種の性能仕様を示します。

(1) A1SJ71E71N-B2から置き換える場合

項 目	仕 様					
	A1SJ71E71N-B2	A1SJ71E71N3-T	QJ71E71-B2	QJ71E71-100		
伝送仕様	インタフェース	10BASE2	10BASE-T	10BASE2	10BASE-T	100BASE-TX
	データ伝送速度	10Mbps				
	通信モード	半二重				
	伝送方法	ベースバンド				
	ノード間最長距離	925m		925m		
	最大セグメント長	185m	100m (ハブとノード間)	185m	100m (ハブとノード間)	
	最大ノード数 /接続	30台/セグメント	カスケード接続 最大4段	30台/セグメント	カスケード接続 最大4段	カスケード接続 最大2段
	最小ノード間隔	0.5m		0.5m		
送受信データ 格納用メモリ	同時オープン 可能数	8コネクション (シーケンスプログラムで使用できる コネクション)		16コネクション (シーケンスプログラムで使用できるコネクション)		
	固定バッファ	1kワード×8		1kワード×16		
	ランダムアクセス 用バッファ	3kワード×2		6kワード×1		
EEPROM書込み回数						
入出力占有点数	32点1スロット (I/O割付：特殊32点)		32点1スロット (I/O割付：インテリ32点)			
DC5V内部消費電流	0.66A	0.69A	0.60A	0.50A		
接続コネクタ	BNCコネクタ	モジュラジャック (RJ45)	BNCコネクタ	モジュラジャック (RJ45)		
接続ケーブル	同軸ケーブル (RG58A/Uまたは RG58C/U)	非シールドツイスト ペアケーブル(UTP) または シールド付き ツイストペアケーブル (STP)の カテゴリ3, 4, 5	同軸ケーブル (RG58A/Uまたは RG58C/U)	非シールド ツイストペア ケーブル(UTP) または シールド付き ツイストペア ケーブル(STP)の カテゴリ3, 4, 5	シールド付き ツイストペア ケーブル (STP)の カテゴリ5以上	
DC12V外部供給電源 (トランシーバ用)						
外形寸法	130(H)×34.5(W)×94(D) [mm]		98(H)×27.4(W)×90(D) [mm]			
質量	0.21kg	0.17kg	0.13kg	0.11kg		

(2) A1SJ71E71N-B5から置き換える場合

項 目	仕 様						
	A1SJ71E71N-B5	A1SJ71E71N3-T	QJ71E71-B5	QJ71E71-100			
伝送仕様	インタフェース	10BASE5	10BASE-T	10BASE5	10BASE-T	100BASE-TX	
	データ伝送速度	10Mbps				100Mbps	
	通信モード	半二重				全二重/半二重	
	伝送方法	ベースバンド					
	ノード間最長距離	2500m		2500m			
	最大セグメント長	500m	100m (ハブとノード間)	500m	100m (ハブとノード間)		
	最大ノード数 /接続	100台/セグメント	カスケード接続 最大4段	100台/セグメント	カスケード接続 最大4段	カスケード接続 最大2段	
	最小ノード間隔	2.5m		2.5m			
送受信データ 格納用メモリ	同時オープン 可能数	8コネクション (シーケンスプログラムで使用できる コネクション)		16コネクション (シーケンスプログラムで使用できるコネクション)			
	固定バッファ	1kワード×8		1kワード×16			
	ランダムアクセス 用バッファ	3kワード×2		6kワード×1			
EEPROM書込み回数							
入出力占有点数	32点1スロット (I/O割付：特殊32点)			32点1スロット (I/O割付：インテリ32点)			
DC5V内部消費電流	0.57A	0.69A	0.50A				
接続コネクタ	Dサブコネクタ (オス15ピン)	モジュラジャック (RJ45)	Dサブコネクタ (オス15ピン)	モジュラジャック (RJ45)			
接続ケーブル	AUIケーブル (ツイストペア ケーブル)	非シールドツイスト ペアケーブル(UTP) または シールド付き ツイストペアケーブル (STP)の カテゴリ3, 4, 5	AUIケーブル (ツイストペア ケーブル)	非シールド ツイストペア ケーブル(UTP) または シールド付き ツイストペア ケーブル(STP)の カテゴリ3, 4, 5	シールド付き ツイストペア ケーブル(STP) の カテゴリ5以上		
DC12V外部供給電源 (トランシーバ用)	要		要				
外形寸法	130(H)×34.5(W)×94(D) [mm]			98(H)×27.4(W)×90(D) [mm]			
質量	0.20kg	0.17kg	0.12kg	0.11kg			

(3) A1SJ71QE71N-B2から置き換える場合

項 目	仕 様					
	A1SJ71QE71N-B2	A1SJ71QE71N3-T	QJ71E71-B2	QJ71E71-100		
伝送仕様	インタフェース	10BASE2	10BASE-T	10BASE2	10BASE-T	100BASE-TX
	データ伝送速度	10Mbps				100Mbps
	通信モード	半二重				全二重/半二重
	伝送方法	ベースバンド				
	ノード間最長距離	925m		925m		
	最大セグメント長	185m	100m (ハブとノード間)	185m	100m (ハブとノード間)	
	最大ノード数 /接続	30台/セグメント	カスケード接続 最大4段	30台/セグメント	カスケード接続 最大4段	カスケード接続 最大2段
	最小ノード間隔	0.5m		0.5m		
送受信データ 格納用メモリ	同時オープン 可能数	8コネクション (シーケンスプログラムで使用できる コネクション)		16コネクション (シーケンスプログラムで使用できるコネクション)		
	固定バッファ	1kワード×8		1kワード×16		
	ランダムアクセス 用バッファ	6kワード×1				
EEPROM書込み回数	同じエリアに対して最大1万回					
入出力占有点数	32点1スロット (I/O割付：特殊32点)		32点1スロット (I/O割付：インテリ32点)			
DC5V内部消費電流	0.53A		0.60A	0.50A		
接続コネクタ	BNCコネクタ	モジュラジャック (RJ45)	BNCコネクタ	モジュラジャック (RJ45)		
接続ケーブル	同軸ケーブル (RG58A/Uまたは RG58C/U)	非シールドツイスト ペアケーブル(UTP) または シールド付き ツイストペアケーブル (STP)の カテゴリ3, 4, 5	同軸ケーブル (RG58A/Uまたは RG58C/U)	非シールド ツイストペア ケーブル(UTP) または シールド付き ツイストペア ケーブル(STP)の カテゴリ3, 4, 5	シールド付き ツイストペア ケーブル (STP)の カテゴリ5以上	
DC12V外部供給電源 (トランシーバ用)						
外形寸法	130(H)×34.5(W)×94(D) [mm]		98(H)×27.4(W)×90(D) [mm]			
質量	0.20kg	0.18kg	0.13kg	0.11kg		

(4) A1SJ71QE71N-B5から置き換える場合

項 目	仕 様						
	A1SJ71QE71N-B5	A1SJ71QE71N3-T	QJ71E71-B5	QJ71E71-100			
伝送仕様	インタフェース	10BASE5	10BASE-T	10BASE5	10BASE-T	100BASE-TX	
	データ伝送速度	10Mbps				100Mbps	
	通信モード	半二重				全二重/半二重	
	伝送方法	ベースバンド					
	ノード間最長距離	2500m		2500m			
	最大セグメント長	500m	100m (ハブとノード間)	500m	100m (ハブとノード間)		
	最大ノード数 /接続	100台/セグメント	カスケード接続 最大4段	100台/セグメント	カスケード接続 最大4段	カスケード接続 最大2段	
	最小ノード間隔	2.5m		2.5m			
送受信データ 格納用メモリ	同時オープン 可能数	8コネクション (シーケンスプログラムで使用できる コネクション)		16コネクション (シーケンスプログラムで使用できるコネクション)			
	固定バッファ	1kワード×8		1kワード×16			
	ランダムアクセス 用バッファ	6kワード×1					
EEPROM書込み回数	同じエリアに対して最大1万回						
入出力占有点数	32点1スロット (I/O割付: 特殊32点)			32点1スロット (I/O割付: インテリ32点)			
DC5V内部消費電流	0.40A	0.53A	0.50A				
接続コネクタ	Dサブコネクタ (オス15ピン)	モジュラジャック (RJ45)	Dサブコネクタ (オス15ピン)	モジュラジャック (RJ45)			
接続ケーブル	AUIケーブル (ツイストペア ケーブル)	非シールドツイスト ペアケーブル(UTP) または シールド付き ツイストペアケーブ ル(STP)の カテゴリ3, 4, 5	AUIケーブル (ツイストペア ケーブル)	非シールド ツイストペア ケーブル(UTP) または シールド付き ツイストペア ケーブル(STP)の カテゴリ3, 4, 5	シールド付き ツイストペア ケーブル (STP)の カテゴリ5以上		
DC12V外部供給電源 (トランシーバ用)	要		要				
外形寸法	130(H)×34.5(W)×94(D) [mm]			98(H)×27.4(W)×90(D) [mm]			
質量	0.19kg	0.18kg	0.12kg	0.11kg			

7. 生産中止機種と置換え機種の機能比較

生産中止機種と置換え機種との機能比較を示します。

	機能	AnSシリーズ		QnASシリーズ		Qシリーズ	備考
		A1SJ71E71N-B2, A1SJ71E71N-B5	A1SJ71E71N3-T	A1SJ71QE71N-B2, A1SJ71QE71N-B5	A1SJ71QE71N3-T	QJ71E71-B2, QJ71E71-B5, QJ71E71-100	
1	イニシャル処理	シーケンスプログラム	○	○	○ ^{*2}	(*7)	
		GX Developer パラメータ設定	×	○	○ ^{*2}		
2	オープン処理	シーケンスプログラム	○	○	○ ^{*2}	(*8)	
		GX Developer パラメータ設定	×	×	○ ^{*2}		
3	固定バッファによる 交信	手順あり	○	○	○ ^{*3}	—	
		無手順	○	○	○ ^{*3}	—	
4	ランダムアクセス用バッファによる交信	○	○	○	○ ^{*4}	—	
5	シーケンサCPU内データの読出し/書き込み (MCプロトコルによる交信)	○	○	○	○	(*9)	
6	データリンク用命令による交信	×	○ ^{*1}	○	○	シーケンサCPU間 の交信用	
7	割込み処理 (データ受信時)	固定バッファ交信	×	×	○	BUFRCVS命令	
		データリンク用命令	×	×	○	RECVS命令	
8	電子メールの 送信/受信	シーケンスプログラム による送信/受信	×	×	○	(*10)	
		自動報知機能による 送信	×	×	○	—	
9	ファイル転送	×	○	○	○	FTPサーバ機能	
10	Web機能による送信	×	×	×	○	—	
11	一斉同報通信	○	○	○	○	一斉同報機能	
12	シーケンサCPUがSTOP中での交信	○	○	○	○ ^{*5}	—	
13	交信データコード (ASCII/バイナリ) の選択	○	○	○	○	—	
14	CC-Link IEコントローラネットワーク, MELSECNET/H, MELSECNET/10中継交信	×	○ ^{*1}	○	○	—	
15	ルータ中継機能	○	○	○	○	ルータ中継機能	
16	相手機器の 生存チェック	Ping	○	○	○	—	
		KeepAlive	×	×	○	—	
17	ペアリングオープンによる交信	○	○	○	○	固定バッファに よる交信	
18	データ交信用の各タ イマ設定値の単位	500ms	○	○ (固定)	○ (固定)	—	
		2s	○	×	×	—	
19	GX Developerとの交 信	TCP/IP	×	×	○	1:1交信用	
		UDP/IP	○	○	○	GX Developerの 機能による	
20	EEPROMの搭載	×	○	○	×	交信パラメータ 登録	
21	TCP Maximum Segment分割送信	○	○	○	○	—	

○：機能あり ×：機能なし

- *1 機能の使用にあたっては、シーケンサCPU, SWnIVD/NX-GPPQ形GPP機能ソフトウェアパッケージの製造年月/ソフトウェアバージョンが関係します。
- *2 入出力信号を使用したシーケンスプログラムとGX Developerからのパラメータ設定を併用することはできません。
- *3 入出力信号およびQnASシリーズのバッファメモリについて互換があります。
- *4 機能の互換性はありますが、シーケンスプログラムによる電子メールの送信/受信機能との併用はできません。
- *5 GX Developerのネットワークパラメータで“常にOPEN待ち”に設定することにより、従来のようなシーケンスプログラムは不要です。本機能を従来のようなシーケンスプログラムで使用する場合、下記に示す機能との併用はできません。(同一エリアを使用しているため、正常に動作しません。)
 - ・ネットワークパラメータの動作設定で“常にOPEN待ち”を設定している場合。
 - ・ネットワークパラメータのオープン設定で“MELSOFT接続”を設定している場合。
 - ・シーケンスプログラムで再イニシャル処理 (UINI命令, バッファメモリによる再イニシャル処理) を使用する場合。
- *6 EEPROMは搭載していません。QnASシリーズでEEPROMに登録していた項目は、GX Developerからのパラメータ設定で行います。
- *7 GX Developerからのパラメータ設定を行うことで、Qシリーズは立上がり時にイニシャル処理が行われます。従来のようなシーケンスプログラムが不要です。
- *8 Qシリーズは、シーケンサCPUからオープン処理できるコネクションの数が16コネクション分に増えています。また、TCP/IP通信用のPassiveオープン処理、UDP/IP通信用のオープン処理を行う場合に限り、GX Developerからのパラメータ設定で“常にOPEN待ち”を指定することによりQシリーズの立上がり時にオープン処理が行われます。従来のようなシーケンスプログラムが不要です。
- *9 Qシリーズ使用時は、最大960ワード分のデータの読出し/書込みが可能です。(QnASシリーズの場合は、最大480ワード分のデータの読出し/書込みが可能です。)
- *10 ランダムアクセス用バッファによる交信機能との併用はできません。

8. 置換え上の留意点

(1) 同一シリーズへの置換え

- (a) 内部消費電流
生産中止機種と置換え機種とでは、DC5V内部消費電流が異なるため再計算してください。
DC5V内部消費電流の値は、「6. 生産中止機種と置換え機種の性能仕様比較」を参照してください。
- (b) ケーブルの配線
インタフェースを10BASE2/5から10BASE-Tへ変換する必要があります。
変換するにはIEEE802.3の規格に準拠した市販のメディア・コンバータを使用してください。
- (c) プログラムの流用について
 - ① 相手機器側のプログラム流用について
既存のプログラムをそのまま流用できます。
 - ② 自局AnS/QnASシリーズのプログラム流用について
既存のプログラムをそのまま流用できます。

(2) Qシリーズへの置換え

- (a) ケーブルの配線
QJ71E71-B2/B5へ置き換える場合は、既存のケーブルをそのまま接続できます。
QJ71E71-100へ置き換える場合は、インタフェースを10BASE2/5から10BASE-T/100BASE-TXへ変換する必要があります。
変換するにはIEEE802.3の規格に準拠した市販のメディア・コンバータを使用してください。
- (b) AnSシリーズからQシリーズへのプログラム流用について
 - ① 相手機器側のプログラム流用について
AnSシリーズに対する相手機器側のプログラムは、Qシリーズに対する交信用として流用することができます。
ただし、AnSシリーズとQシリーズは応答速度が異なるため、そのまま流用できない場合があります。プログラム流用時は必ず動作確認を行ってください。
 - ② 自局AnSシリーズのプログラム流用について
AnSシリーズとQシリーズは、バッファメモリの割付けが異なるため、AnSシリーズのシーケンスプログラムはQシリーズに流用できません。新規にプログラムを作成してください。
- (c) QnASシリーズからQシリーズへのプログラムの流用について
 - ① 相手機器側のプログラム流用について
QnASシリーズに対する相手機器側のプログラムは、Qシリーズに対する交信用として、下記のプログラムを除き流用することができます。

項目	内容
ファイル操作に関するプログラム	QnASシリーズとQシリーズではファイル操作に関するコマンドが異なります。 MELSEC-Q/L MELSECコミュニケーションプロトコルリファレンスマニュアルを参照し、プログラムを変更してください。
MELSECNET(II), MELSECNET/Bへアクセスするプログラム	QCPU(Qモード)は、MELSECNET(II)およびMELSECNET/Bにアクセスできません。

ただし、QnASシリーズとQシリーズは応答速度が異なるため、そのまま流用できない場合があります。プログラム流用時は必ず動作確認を行ってください。

② 自局QnASシリーズのプログラム流用について

イニシャル処理用シーケンスプログラムと、GX Developerからのパラメータ設定によるイニシャル処理を併用しないでください。

また、パラメータ設定、QCPUとの通信などを行うときは、必ずGX Developerを使用してください。

自局QnASシリーズに対するシーケンスプログラムは、Qシリーズに対する交信用として、下記のプログラムを除き流用することができます。

項 目	内 容
MELSECNET (II), MELSECNET/Bへアクセスするプログラム	QCPU (Qモード) は、MELSECNET (II) およびMELSECNET/Bにアクセスできません。
EEPROMに関するシーケンスプログラム	QシリーズにはEEPROMがありません。EEPROMへアクセスするプログラムがある場合、シーケンスプログラムを変更してください。
コネクションNo. 8のペアリングオープン設定	Qシリーズは、コネクションNo. 8のペアリングオープン設定ができません。(コネクションNo. 8が受信用、コネクションNo. 1 が送信用のペアリング) コネクションNo. 8のペアリングオープン設定を行っている場合には、シーケンスプログラムを変更してください。
EPRSET命令によるパラメータ設定プログラム	QシリーズはEPRSET命令を使用したEthernetパラメータ設定ができません。 EPRSET命令を使用している場合には、該当する部分のシーケンスプログラムを削除して、GX DeveloperのネットワークパラメータにてEthernetユニット用パラメータを設定してください。

ただし、QnASシリーズとQシリーズは応答速度が異なるため、そのまま流用できない場合もあります。プログラム流用時は必ず動作確認を行ってください。

9. 関連マニュアル

置換え時は、下記のマニュアルを参照してください。

(1) 同一シリーズへの置換え

マニュアル名称	マニュアル番号 (形名コード)	標準価格
A対応Ethernetインタフェースユニットユーザーズマニュアル (詳細編)	SH-080191 (13JT71)	¥4,000
QnA対応Ethernetインタフェースユニットユーザーズマニュアル (詳細編)	SH-080145 (13JT55)	¥4,000

(2) Qシリーズへの置換え

マニュアル名称	マニュアル番号 (形名コード)	標準価格
Q対応Ethernetインタフェースユニットユーザーズマニュアル (基本編)	SH-080004 (13JQ36)	¥3,000
QCPUユーザーズマニュアル(ハードウェア設計・保守点検編)	SH-080472 (13JP56)	¥4,000
MELSEC-Q/L MELSECコミュニケーションプロトコルリファレンス マニュアル	SH-080003 (13JQ34)	¥4,000



三菱電機株式会社 〒100-8310 東京都千代田区丸の内2-7-3 (東京ビル)

お問い合わせは下記どうぞ

本社機器営業部	〒100-8310 東京都千代田区丸の内2-7-3(東京ビル)	(03)3218-6760
北海道支社	〒060-8693 札幌市中央区北二条西4-1(北海道ビル)	(011)212-3794
東北支社	〒980-0011 仙台市青葉区上杉1-17-7(仙台上杉ビル)	(022)216-4546
関東支社	〒330-6034 さいたま市中央区新都心11-2(明治安田生命さいたま新都心ビル ランド・アクシス・タワー)	(048)600-5835
新潟支店	〒950-8504 新潟市中央区東大通2-4-10(日本生命ビル)	(025)241-7227
神奈川支社	〒220-8118 横浜市西区みなとみらい2-2-1(横浜ランドマークタワー)	(045)224-2624
北陸支社	〒920-0031 金沢市広岡3-1-1(金沢パークビル)	(076)233-5502
中部支社	〒450-8522 名古屋市中村区名駅3-28-12(大名古屋ビル)	(052)565-3314
豊田支店	〒471-0034 豊田市小坂本町1-5-10(矢作豊田ビル)	(0565)34-4112
関西支社	〒530-8206 大阪市北区堂島2-2-2(近鉄堂島ビル)	(06)6347-2771
中国支社	〒730-8657 広島市中区中町7-32(ニッセイ広島ビル)	(082)248-5348
四国支社	〒760-8654 高松市寿町1-1-8(日本生命高松駅前ビル)	(087)825-0055
九州支社	〒810-8686 福岡市中央区天神2-12-1(天神ビル)	(092)721-2247

インターネットによる三菱電機FA機器技術情報サービス

MELFANSwebホームページ: <http://www.MitsubishiElectric.co.jp/melfansweb>
 MELFANSwebのFAランドでは、体験版ソフトウェアやソフトウェアアップデートのダウンロードサービス、MELSECシリーズのオンラインマニュアル、Q&Aサービス等がご利用いただけます。FAランドのID登録(無料)が必要です。

三菱電機FA機器TEL、FAX技術相談

●電話技術相談窓口

※1: 土・日・祝祭日、春期・夏期・年末年始の休日を除く通常業務日
 ※2: ACサーボ、モーション窓口にて対応します
 ※3: 春期・夏期・年末年始の休日を除く

対象機種	電話番号	受付時間※1	
MELSEC-Q/L/QnA/Aシーケンサ	シーケンサー一般(下記以外)	052-711-5111	
	ネットワーク、シリアルコミュニケーションユニット	052-712-2578	
	位置決めユニット ※2	052-712-6607	
	アナログ、温調、温度入力、高速カウンタユニット	052-712-2579	
C言語コントローラ/MESインタフェースユニット/高速データロガーユニット	052-712-2370	月曜～木曜 9:00～19:00 金曜 9:00～17:00	
MELSOFTシーケンサプログラミングツール	MELSOFT iQ Works (Navigator)、MELSOFT GXシリーズ、SW□IVD-GPPA/GPPQなど	052-711-0037	月曜～金曜 9:00～19:00
MELSOFT通信支援ソフトウェアツール	MELSOFT MXシリーズ、SW□D5F-CCKP/OLEX/XMOPなど	052-712-2370	月曜～木曜 9:00～19:00 金曜 9:00～17:00
MELSECパソコンボード	Q80BDシリーズなど		
MELSEC計装/Q二重化	プロセスCPU、二重化CPU、MELSOFT PXシリーズ	052-712-2830	金曜 9:00～17:00
MELSEC Safety	安全シーケンサ/安全コントローラ	052-712-3079	月曜～金曜 9:00～19:00
GOT表示器	GOT1000/A900シリーズなど、MELSOFT GTシリーズ	052-712-2417	

●FAX技術相談窓口

対象機種	FAX番号	受付時間※1
上記対象機種	052-719-6762	9:00～16:00(受信は常時※3)



安全に関するご注意

本テクニカルニュースに記載された製品を正しくお使いいただくためご使用前に必ず「マニュアル」をよくお読みください。